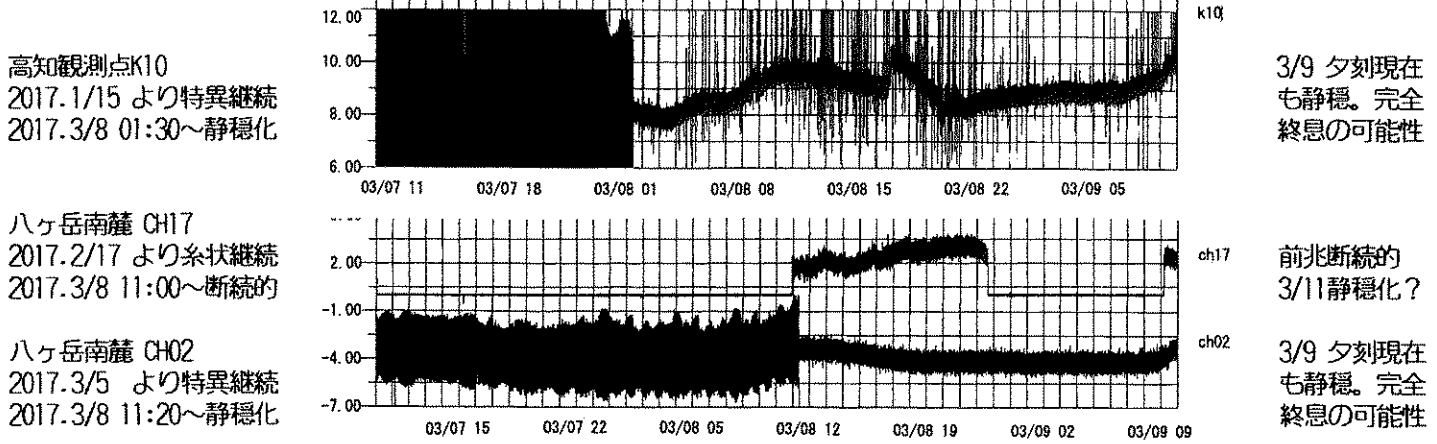


原稿校了後の前兆変化について

八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254
Astronomical Observatory: SINCE 1985 Earthquake Forecast Observation & Research: SINCE 1995

No.1778 長期継続前兆 K10 CH02 特異終息の様相 CH17 断続的
残りの前兆が 3/11± 終息の場合 3/13±1 の可能性大



No.1778長期継続特殊前兆の続報現況報告です。

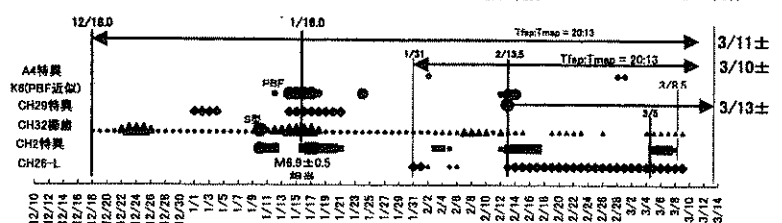
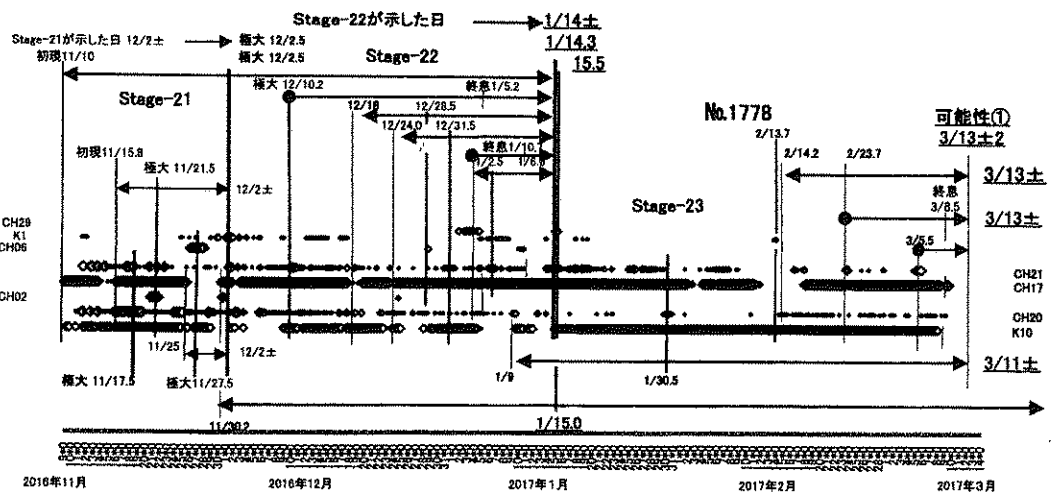
HP公開続報では2/28更新情報で、3/8頃前兆終息の可能性があり、終息の場合3/12±の可能性が否定できないことを報告致しました。

E-mail又はFAXで日々配信しております地震前兆検知観測情報では既に報告済ですが、3/12±ではなく、3/13±の可能性高いと修正。また3/5.5にピーク認識のため、3/11±迄前兆継続の可能性有と報告。

表題のとおり、2ヶ月近く継続して特異前兆が出現していた高知観測点-K10が昨日未明に前兆静穏化。また、同日昼前に八ヶ岳のCH17、CH2の特異も相次いで前兆静穏化が観測されました。上波形参照。CH17は昨日約11時間強正常基線を記録後、断続的出現に変化。CH2 K10は共に本日夕刻現在完全静穏基線維持で終息認識。

3/13±が正しい場合は3/5.5〜7に対する前兆終息予測が3/11±となりますので終息するか観測を続けます。終息した場合は3/13±発生。終息しない場合は再考。

2/13.5 極大 → 3/8.5終息 → 3/13±
3/5.5 極大 (3/11.5±終息の場合) → 3/13±



- No.1778前兆 ◆推定領域: 右図 点線領域内=大枠推定域
大線領域内=可能性考え易い推定域
- ◆推定規模: M7.8 ± 0.5
(前兆評価誤認の場合でも最低M6.9 ± 0.5)
- ◆推定時期: CH17, 20, 21等が3/11±終息の場合=3月13日±1
(3/12夕刻時点で前兆継続の場合は修正の必要有)
- ◇推定地震種: 火山にある程度近い領域の震源が浅い陸域地殻地震
- ◇推定発生時刻: 午前09時±1(又は午後06時±3)

